

# 生徒たちの図書室の利用の様子を レポートします



本校では、昨日1学期の中間試験が終了しました。

試験期間中は、放課後も学校に残って勉強に励む生徒たちの姿が見られました。生徒たちは、お気に入りの場所を見つけて、自らの学習を進めているようです。

図書室も読書と自らの学習を進める場所として生徒たちは積極的に活用しています。本校の図書室は約48,000冊もの蔵書を誇ります。文庫・新書からハードカバー、新聞・雑誌に至るまで種類も豊富です。洋書の蔵書も数多くあるため、帰国生の生徒たちだけでなく、一般生も洋書を手に入る機会は多いです。中学3年で行う研究論文を執筆する時期には自らが選んだテーマの仮説を検証するため、図書室の本を利用しに訪れる生徒たちの姿が見受けられます。ディベートの授業の準備の為、立論の根拠を求めて本を手に入る中学2年生の姿も多いです。知の宝庫である図書室をうまく利用することは生徒たちの探究活動の大変重要な要素となります。本に親しむことでより幅広い知見を得ていくのも洗足生の特徴です。

★明るく、開放的な入口です。



★読書スペース。新聞も用意しています。



★パソコンコーナーでは、調べものも。



★試験期間中だったため、閲覧スペースは、満席。



★検索コーナー。新着図書がずらり。



図書館司書さんによる、特別コーナーを発見！  
「今こそ、理系女子へ贈りたい！」  
～古文も世界史も必要なのです～

